



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507
<http://catholic-kofu.com>
発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつぶやき

カトリック甲府・塩山教会 主任司祭 白木 信一

ある時、「教会は同性愛者の結婚を認めるようになったのですか？」と尋ねられたことがあった。「どうして？」と聞いたら、「教皇様が同性愛者の人権を大切にするように」と言われていたから、との返事が返ってきた。ウーッ！

教皇様のお話に「同性愛者の結婚を認めるように」との明言があったのか尋ねると、その言葉は一言もなかったとのこと。同性愛者の人権を大切にすることと、同性愛者の結婚を認めることは別の問題である。しかし、このことを聴く人の中に、たまたま「同性愛者の結婚を教会は認めないのかな」との思いの中でこの言葉を聞く人がいると、自分の思いにこの言葉を繋げてしまう。そうして、先のような解釈になってしまうのだろう。このように、言われていない事柄までもそうだと、自分で勝手に解釈してしまう。

何かを発言したことによって、発言していない内容までも発言したかのように勝手に解釈されてしまうことが、今まで赴任した各小教区内にはあった。また、伝えただけなのにその直後には、そのようなことは聞いていなかったかのような言動があったりする。聞いても理解しようとしないうちに「聞く耳のある人は聞きなさい」（マルコ4：9）と、イエスさまはおっしゃっているのだが、自分の先入観や固定観念を捨てて聞くことの大切さを教えておられるのではないだろうか。

イエスさまが「神の国」について語られる時、イエスさまはよくたとえで語られている。それは聞く人に分かりやすく、理解しやすくするために用いられる手法ではあるものの、時代、文化、風土も違う日本人である私たちには、必ずしも理解しやすいたとえではないことが多い。日本語に訳されているので、訳されている日本語の感覚で理解しようとするため、結果分かりにくいということになってしまう。その意味では、日本語での表現についての固定観念や先入観を捨てて、まっさらな状態の中でしっかりとみことばを聞く必要があるということだろう。

しかし、これがなかなか簡単にはいかない。それが聖書は難しいという感想になってくるのだろう。先ほどの「教会は同性愛者の結婚を認めるようになった」と理解する人のように、自分の固定観念や先入観でついつい考えてしまう習慣が身についていると、キリストがまた教会が教えることの主旨が見えにくくなってしまふ。

時折イエスさまは、民衆の質問に直接答えないで反対に質問をし、このような捉え方をすべきであると教えられる。例えばルカ 10:25～37 の「良きサマリア人のたとえ話」で指摘されているように、「私の隣人は誰か」という固定した捉え方に、「誰の隣人になるか」という捉え方を教えられたように。

あきらめることなく、しっかりと「聞く耳」を養っていききたいものだ。

お知らせ（５月）

1. ミサについて

国の緊急事態宣言延長に合わせ、早朝ミサ、外国語ミサを含めて5月中のミサはありません。6月からミサを再開するための準備を5月中進めていきます。

2. ブロック長・外国籍リーダー会議

5月17日（日）午前11：30よりサントルチア講堂にてブロック長・外国籍リーダー会議を開催いたします。6月以降のミサ再開準備のため重要な会議ですので都合のつかない方は必ず代理の方を立て、ご出席くださいますようお願いいたします。※信徒名簿を忘れずにご持参ください。

3. 初聖体

6月14日に予定されていた今年度の初聖体は延期いたします。

4. 幼児洗礼式

9月13日に予定されていた今年度の幼児洗礼式は中止いたします。

5. 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」のカードが聖堂入り口にありますのでお持ちください。

掃除当番ブロック

ブロック	月 日	開始時間	場所
山城・峡南	5月16日（土）	9：30～	聖堂・駐車場横外トイレ・障害者用トイレ
中央・北	5月30日（土）	9：30～	聖堂・駐車場横外トイレ・障害者用トイレ